

一般質問…ここが論点

9月定例会

9月市議会定例会中、6日、7日、8日の3日間で、市政全般について15人の議員が一般質問を行いました。その中から主なものを要約して掲載します。

詳しい内容をお知りになりたい方は、9月定例会会議録を市立図書館などでご覧いただくか、市議会ホームページの会議録検索システムをご利用ください。発行・掲載はいずれも12月上旬の予定です。

また、インターネット録画中継も実施していますのでご覧ください。

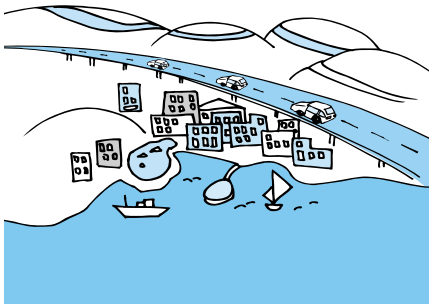
荘田博己(未来の会)

来年度に向けての「要望」「陳情」活動は

問 23号蒲郡バイパス、247号蒲郡中央バイパスの現状と要望は。

答 23号は、形が見えたが、心配なのは事業費が30億円残っていて、今年度2億8千万円しかつかなかった247号である。民主党

の中枢にいる鈴木克昌さんに蒲郡のために是非働いていただきたいと思っっている。県の中で、中央バイパスの重要度が低いのは、いろいろな形で要望を行っているが、県の大幅な減収の中で、選択から



漏れたと理解している。これでは、23年度全面開通は全く無理なので、開発公社で用地取得などの手段も、考えなくてはと考えている。

その他の質問

- 1 民主党政権に対して要望した内容と方法は
- 2 病院事業の要望等は

日恵野佳代(日本共産党)

住宅リフォーム助成事業について

問 3月議会で提案した助成制度は、地元の小さい業者にも工事が回り、地域の活性化、市税の増収にもつながる。明石市では、助成額の約11倍の経済波及効果があったと報告されている。蒲郡市でも助成制度を続けていくためにも、明石市のように、事業の成果を検証すべきでは。

答 実績報告の段階で工事の内容、金額が判明し、さらにリフォームに付随した費用を調査することにより経済効果が把握できる。

その他の質問

- 1 高齢者の「聞こえ」の把握と対策
- 2 介護保険計画づくりの実態調査に「聞こえ」の項目を入れては
- 3 自転車でエコ活用を
- 4 蒲郡駅東側の駐輪場建設について ほか

野崎正美(市政クラブ)

蒲郡中央バイパス(247号)について

問 今後の残りの事業はどのような方針か。

答 早期に事業効果を発揮できる区間を定め、集中的に整備したい。まずは県道芦谷蒲郡線から蒲郡碧南線までを開通させたい。

老朽化した蒲郡市斎場の更新について

問 斎場の建てかえの基本構想の内容は。

答 今後の火葬需要の予測、炉の必要数、現在の場所ので可能か、更新手順、費用等々が盛り込まれている。実施設計から供用開始まで3年ということだが、予算と資金計画は、基本構想では、13億円、建設費の75%まで起債が借りられる。

問 最短で何年の完成になるのか。

答 最短でも平成26年になる。

飛田常年(市政クラブ)

高齢者の所在不明問題と今後の福祉施設整備は



蒲郡市斎場